

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	16H06301	研究期間	平成28(2016)年度 ～令和2(2020)年度
研究課題名	心の自立性の獲得－環境から解放された心の進化と発達	研究代表者 (所属・職) (平成31年3月現在)	藤田 和生 (京都大学・大学院文学研究科・教授)

【令和元(2019)年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準
A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
○ A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

(意見等)

本研究は、「心の自立性」の発展過程を広範な種比較と発達比較により解明することを目標としている。これまでの進捗では、多様な動物種を対象とした精緻な実験計画の実施により、それぞれの種個々の実験結果の蓄積という点で、質、量ともに高い成果が上げられていると判断できる。その一方で、「心の自立性」の解明に向けた人間や動物に共通する仮説の提示と検証という側面では物足らず、最終目標に向けて順調に進められるのかが懸念される。今後は両者を並行して探求することにより、世界的に評価される大きな研究成果を期待する。